

岩手県はばたき賞表彰実施要綱

第1 趣旨

本県における児童生徒等の他の模範となる行為や活動を表彰し、もって学校教育の一層の充実に資する。

第2 表彰対象

本県に所在する国公立及び私立学校に在籍する児童生徒等及び児童生徒等で構成する団体とする。

第3 表彰基準

表彰は、次の各号の区分に応じ、当該各号に挙げるものの一に該当するものについて行う。

1 善行表彰

- (1) 人命救助等他の模範となる行為を行い、相当の評価を受けているもの
- (2) 広く地域・社会に寄与する児童生徒等の自主的・自発的な活動であり、その活動が社会的に善いことと認められ、相当の評価を受けているもの
- (3) その他、(1)又は(2)と同等であると判断されるもの

2 奨励表彰

- (1) クラブ活動、部活動等において顕著な成果をあげたもの
- (2) 児童会、生徒会活動等で他の模範となる活動を行い、相当の評価を受けているもの
- (3) その他、(1)又は(2)と同等であると判断されるもの

3 努力表彰

- (1) 地道な努力により、他の模範となる行為又は活動を行い、相当の評価を受けているもの
- (2) その他、(1)と同等であると判断されるもの

第4 被表彰候補者の推薦

被表彰候補者の推薦は、以下のとおり行うものとする。

- (1) 県立学校及び国立学校の児童生徒等については、在籍校の校長が岩手県教育委員会教育長（以下「県教育長」という。）に推薦する。
- (2) 市町村立学校の児童生徒については、在籍校の校長の推薦に基づき、市町村教育委員会教育長が県教育長に推薦する。
- (3) 私立学校の児童生徒については、在籍校の校長が岩手県政策地域部を経由し県教育長に推薦する。
- (4) 推薦は随時行うものとする。

第5 審査会の設置

- 1 県教育委員会事務局に岩手県はばたき賞表彰審査会（以下「審査会」という。）を設置する。
- 2 審査会は、被表彰候補者について被表彰者として適当であるか否かを審査し、県教育長に報告する。

第6 被表彰者の決定

県教育長は、審査会の報告を受け、被表彰者を決定する。

第7 表彰の方法

表彰は、県教育長が表彰状を授与する。ただし、記念品を併せて授与することができる。

第8 表彰の回数

表彰は、原則として年2回行う。

第9 庶務

表彰に関する庶務は、学校調整課において処理する。

第10 その他

この要綱に定めるもののほか、表彰に関し必要な事項は、学校調整課総括課長が定める。

附 則

この要綱は、平成30年4月1日から施行する。

この要綱は、令和元年5月21日から施行する。